

自ら考え判断し、行動できる生徒の育成

—— 平成7年度北中生徒会活動の活発化をめざした実践の記録から ——

足利市立北中学校 藤原岳志

1. はじめに

生徒会活動は学校週5日制導入からくる授業時数の確保や行事の精選・統合によって今まで以上に、創意工夫し、家庭や地域社会と連携を図りながら、望ましい集団活動の体験を通して、自発的、自治的な活動を促し、自らの力で解決していこうとする態度を育てることが求められている。専門委員会においても、生徒の役割分担を明確にし、生徒の豊かな発想に基づいた魅力ある活動ができるよう工夫改善に努めなければならない。また、集会活動も体験的な活動を重視し、児童生徒の意欲的な活動を促すよう工夫することが大切である。

本来、生徒会活動は生徒の自治能力を鍛え磨くのに格好の場であるし、民主主義を体験し実現できる大切な場であると思う。教科の授業や学級活動では味わうことのできない多くのものを生徒会活動はもっているのではないだろうか。先輩たちの活発な意見が飛び交う生徒総会や手作りであたたかい3年生を送る会などが、後輩たちに受け継がれ、学校の良き伝統を作っていくのではないかと考える。そのような意味で活発な生徒会活動は、生きる力を生徒に身につけさせる大切な活動であるし、生き生きとした中学校をつくる一つの大きな要素になるのではないかと思う。

2. 本校の生徒の実態

本校の生徒はたいへん素直で明るく礼儀正しいという長所をもっているが、反面消極的で表現力に乏しいという短所もある。例えばこれまで生徒会長に立候補する生徒はだいたいにおいて1名の時が多く、その候補を信任投票するぐらいで、波風の少ない穏やかな選挙が多かった。また生徒総会においてははどうとうとみんなの前で発言する生徒は少なく、あっさりと時間内で閉会することが通例であった。また生徒たちと生徒会役員の間には一体感がなく、冷たい目で生徒会役員の活動を見る生徒も多くいたと、かつての生徒会役員がこぼしていたこともあった。委員会活動においてははじめに取り組もうとする意欲が強いが創意工夫のある活動は少なく、当番活動が主である。しかし毎年3年生が一生懸命に取り組み、後輩の良い手本となっているというとてもすばらしい伝統が続いている。

3. 基本的な考え方

生徒会活動の基盤は学級にあると考える。全学級が活気のある学級（本校の場合は17学級）であれば必然的に生徒会も活発になると思う。本校の場合は比較的若い学級担任が多く、みんなが全力を注いで学級活動に取り組む学級の耕しを行っている。したがってそれを生徒会活動にまで反映させれば自然に生き生きとした生徒会はできると考える。また逆に生徒会のほうから学級をさらに活発化させることもできるのではないかと考える。

年度当初の生徒会役員との打ち合わせにおいて、本年度の生徒会活動はまず活発に行動することを決めた。そのためには失敗を恐れず、時には生徒会役員が恥をかくことも覚悟で、とにかく動くこと、動かすことを目標にして活動を進めようと考えた。幸いにも生徒会役員にはやる気があり働くことをいとわない生徒が多かったので、最初から「なんとかできる」という雰囲気があった。

さて、生徒会活動にはおおきく分けて3つの活動があると考え。1つは最も大切な定期的に行う専門委員会の活動である。そして2つ目は生徒総会をはじめとする集会活動など行事に関する活動。3つ目は頭髪の自

由化をすすめるなど、校則に対して生徒の要望を実現させる活動である。

かつての中学校の生徒会は3つ目の、教師から校則の面で何らかの要望を勝ち取ることや各部活動の予算額のアップを要求する活動などが活発であったのではないだろうか。しかし、本来のあるべき生徒会の姿は、やはりみんなのために生き生きと動く各専門委員会と、生徒の創意工夫の生きたさまざまな集会活動が最も大切なのではないかと思う。

そこで最初の生徒会本部の話合いで本年度の活動の内容において、校則の見直しについては1つの要求だけに限定して取り組むこと、そしてそれよりも多くの集会活動で北中を盛り上げて行こうとの合意に達し、さまざまな実践を重ねていった。ここにその例をいくつか紹介したいと思う。

4. 具体的な取り組み

(1) 生徒会役員の意識向上のために

生徒会活動を生かすも殺すも生徒会役員の力に負うところが多い。まず彼らがリーダーとしての自覚をもつことが必要と考えた。そこでまず彼らに必ず週に1度は集まってもらい話合いの場を設けた。当初は月曜日の放課後であったが、各部でも中心的に活躍している彼らにとっては部活動の時間が削られるのはつらいということなので、昼休みに変更した。週の初めに必ず集まって、今週は何をするかを考え討議することで生徒会役員としての自覚を高めさせようとした。また定期的集まり、話をしているうちに、役員のなかに自然と連帯感が高まったようである。そして「北中の生徒会を変えてやる」という前向き意識も強まっていったようである。

(2) 本年度の生徒集会と生徒会役員の実践

月	さまざまな集会活動 (主に授業・創意の時間)	生徒集会 (水曜日の放課後の20分)	生徒会役員が独自に進めた活動
4	・対面式 ・生徒会説明会 部活動紹介	・学級紹介 ・3年生全員の決意表明	・女子のパッチン止めの使用許可の運動
5	・生徒総会		・選挙法の一部改正
6	・北中サミット ・クリーン活動	・姉妹都市交流派遣員の歓迎会 (ジェフとオーチス) ・同お別れ会	・昼休みエンジョイ計画
7	・パットさんのお別れ会	・〇×クイズ	・靴の自由化運動
9		・運動会の各応援団長のあいさつ ・新部長のあいさつ	・運動会での敬老者招待
10	・ヤングサミット ・生徒総会	・フォークダンス集会	・靴の自由化について先生方との話合い
11	・北中サミット		
12		・大声大会	・フォークダンスを1年生に教える
1	・生徒会引き継ぎ式		
2			・予餞会の準備
3	・予餞会		

(3) クリーン活動について

北中学校では2年前に生徒の意見により第1回クリーン活動が実施された。内容は学校のわきを流れる名草川のゴミひろいを学年毎に分けて、全校生徒により行うものであった。その後は名草川がきれいになっているのでクリーン活動は行われなかったが、今回は町内毎に自分たちの住む地域を全部きれいにしようということになった。

第2回 クリーン活動の計画 生徒会係

1. 目的

- ① 自分の住んでいる町内をきれいにする。
- ② 自分の町を清掃することにより地域の一員としての自覚を高めさせ、自らゴミを散らかさない態度を養いたい。
- ③ 活動を縦割りのグループにすることにより、上級生の先輩としての自覚を促し、また下級生には先輩を見習うことを指導し、より良い上下関係を作りたい。

2. 役割分担

- ・生徒会本部役員が全体的な計画を作る。
- ・各町内生徒会長が中心となって計画を進める。

3. 当日までの日程

第2回クリーン活動……6月30日(日)

6月 8日(木)放課後——町内生徒会長会

9日(金)放課後——町内生徒会……第2回

21日(木)昼休み——町内生徒会長会

22日(木)放課後——専門委員会

23日(金)放課後——町内生徒会……第3回

26日(月)昼休み——町内生徒会長会

27日(火)放課後——町内生徒会……第4回(当日の確認)

第2回町内生徒会の主な内容

話し合い

何をやるか(ゴミ、空き缶、除草)

どこをやるか

どこに集めるか

第3回町内生徒会の主な内容

話し合い

班編成の決定、班長の決定、各班での分担や役割決定

4. 当日の日程

午前中は普通どおり授業、給食、清掃、帰りの会

その後

校庭で全体的な説明を生徒会長より聞く →解散

・集合

2時50分ごろ(各町内の決められた場所と時間)

軍手やかまをもってくる。

・初めの会(打ち合わせ)

町内生徒会長のあいさつ

各班ごとの打ち合わせ

・活動

約2時間

決められた場所で決められた活動をする。

出たゴミは指定の場所へ集める。

・反省会

各班長からの報告

町内生徒会長からのあいさつ

・解散(部活動は無し)

5. 各専門委員会への協力事項

放送委員会……広報活動

保健委員会……活動時のけがの手当

安全委員会……活動時の交通事故予防の呼びかけ

6. 関係機関への連絡

各町内の自治会長へ連絡。

市役所への連絡。

クリーン活動の反省

初めて自分の地域の清掃を行ったわけだが、どの町内も町内生徒会長や3年生を中心にして大変良くやっていたようである。しかし、2時間という活動時間が長すぎたこと、利保町や江川町などは人数が多くてまとまりにくかったこと、また町内によってはやる場所にゴミが少なかったで遊んでしまったなどがあげられた。

そこで次回からは次の点に注意して行いたいと考える。

- ① 人数の多い町内は2つにわけて町内生徒会をつくる。
- ② クリーン活動をする場所については、町内生徒会長だけでなく、生徒会役員も事前に足を運んで調査する。
- ③ 終了時間については統一したものでなく、町内生徒会長に判断させる。

また、できればこの活動を北中生徒会の伝統的な活動に位置づけ、将来は小学校や敬老会などとの協力により進め、地域に根差した活動として定着化させてみたいものである。



当日の菅田町 町内生徒会長のあいさつ



赤松台の川の中を清掃する生徒たち



道路ぞいのあぜ道までクリーン活動はすすんだ。(月谷町)

(4) 生徒心得の改定について

本校では校則については生徒心得というかたちで生徒手帳に示されている。その中の改正について生徒の要望が大きかったのが、女子の髪をとめるいわゆるパッチンどめの使用許可についてと通学靴において色の自由化であった。現在の生徒心得では、髪をとめるものはヘアピンかゴム、靴の色は白地のものならいいとなっている。

生徒会の担当として、生徒心得の改正についてはあまり生徒会の活動として取り上げたくはなかった。なぜなら、この活動の構図は生徒対教師であり、活動が活発になればなるほどお互いの人間関係に悪い影響を与えるような気がしたからである。また活動そのものに生徒の自主性はあるものの、創意工夫のある活動や協力性などは育てにくいと考えられるからである。

しかし、生徒の要求が大きいため生徒会役員としても無視できず活動をスタートすることになった。下の資料は、生徒総会のしおりの一部である。この活動は全校生徒へのアンケートからはじまり、中央委員会での話し合い、靴屋へ行って靴の色の調査、生徒代表と先生方との話し合い、保護者への連絡など様々な経過をへた。最終的には2つの要求ともに職員会議にかけられ、職員の賛成により生徒心得の改正が実現した。

前期生徒総会の資料

白地以外の靴の使用許可について

この案は3年前からあげられている議案です。この案も本部と先生方とで話し合いをしました。本部からの意見として「白地以外も許可されれば靴を選ぶ範囲が広くなり安いものも買える。」と出しました。先生方の意見は、悪い面としてパッチン留めと同じように「ファッションのためだけにはいてく人がでてくる。」「色を自由にしたところで学校生活には関係がない。」ということになり、その日は結果がでず保留というかたちで終わりました。

今年度に入ってから中央委員会をひらき、生徒の意見を聞いてみると、過半数の人がこの案に対して賛成でした。また本部でアンケートをつくり、全生徒に意見を聞いてみた結果も、8割ちかくの人が許可してほしいと思っていることがわかりました。そこで5月の職員会議で話し合ってもらいました。その結果、いろいろな意見が出されたそうですが、ピンクや真っ赤な靴は制服や体育着に合わないと言う意見なども出され、結局は保留ということになり許可されません。

そこで本部としては、いきなりすべての色の自由ではなく、まずは白地以外に黒地や紺地や灰色地の許可から進めて行きたいと考えています。これからも皆さんの協力をおねがいします。

反 省

生徒心得の改正について、教師サイドで反対した理由に最も多かったのは「もしこの生徒心得が改正されてもその権利を享受できるのは2・3年生だけで、1年生には先輩の目があるので実現しない」という事だった。これは北中の生徒の間にあるという、先輩だけに許されていて1年生には許されない行動（これを生徒は裏校則と呼ぶ）がいくつかあって、この改正も1年生には届かないのではないかと。ということであった。これまでこの裏校則については無くしていこうという運動を教師や一部の部活動の先輩たちによって進められていたが、今回この生徒心得の改正に伴って生徒会全体で裏校則廃止の活動がいちだんと活発になってきたのはよかった事だと感じている。

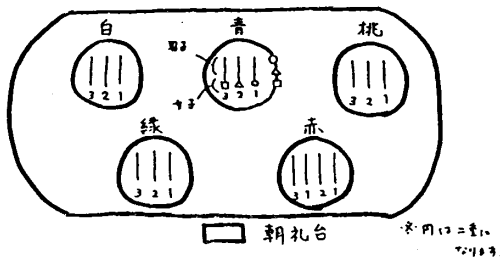
(5) 生徒集会の活発化について

本校では水曜日の放課後に20分の集会の時間が設けられている。その内容は月に全校集会が2回・学年集会が1回・そして生徒集会が1回である。年度当初の生徒会役員との話合いで、全校集会や学年集会はまじめな話やお説教が多いので、せめて生徒集会だけは、楽しいもの・笑いが起こるものを多くして、みんなが生徒集会が来るのを楽しみにするようにしたいと考え計画を立てていった。しかし626人の生徒をたった20分の短い時間で楽しませるにはどうしたらいいのか。時には中央委員会でも話し合ってもらったが、なかなかいい案が出ないので大変苦労した。結局は(2)の一覧表のように活動を進めてきた。

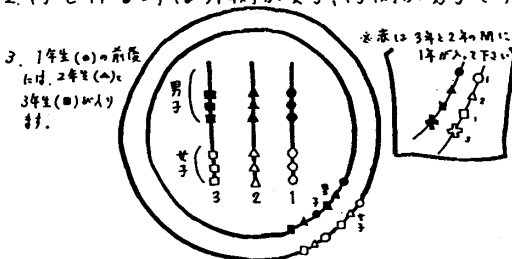
どの活動においても前日にはその場所でリハーサルを行い、20分の中で皆の活動時間が多く取れるように努力した。また盛り上がる生徒集会にするために賞品を出せばとの意見があったので実行にうつした。姉妹都市交流のジェフとオーチスお別れ会では2人で交互に全校生徒とジャンケンをして、最後まで2人に勝ち残った生徒たちには2人のサインとメッセージの入った英語のノートを賞品に、また大声大会では勝った学級の全員にふりかけ1袋(3学級×40で約1,200円)を賞品とした。後のご飯の給食のときに大変好評であったとのこと。

生徒集会 10月25日(水)

ダンスの隊形について



1. 円の内側に、1年、2年、3年の順に(背より前) 女子が前に、男子が後に、一列に並んでいて下さい。(赤は1, 2, 1, 3年の順)
2. 円を作る時は外側が女子、内側が男子です。



生徒集会 12月20日(水)

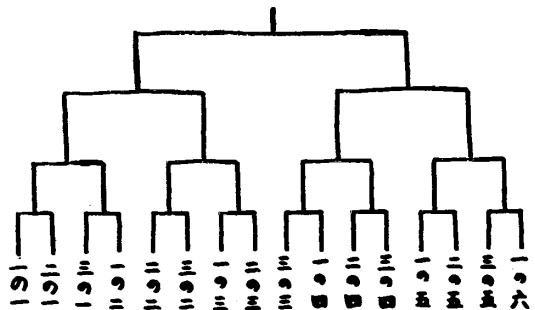
《大声大会》

体育館
集会の隊形に並んでおいて下さい。

1. ルール説明
2. ゲーム開始
3. 結果発表
4. その他

二学期最後の集会なので、楽しくやります。

〈トーナメント表〉



※1位のクラスには、豪華賞品がプレゼントされます。

反 省

周到な準備をしたと思ったにもかかわらず、626人の生徒を動かすとなると時間がかかり、満足のいく楽しい集会にならないこともあった。また仕方なく時間を延長してもらったこともあった。しかし、会を重ねるたびに生徒会役員の集会の進め方が上手になってきたことには目を見張るものがあった。

生徒集会においてはもっともっと生徒の創意工夫の生かされた活動がなされていように思える。

(6) 北中サミットについて

前にも書いたが生徒会の活動は学級が母体である。生徒会を大きな木に例えれば最も大切な根は学級になるであろう。その太い根っこ無しにはしっかりした生徒会はできないと考えられる。その学級の活動を活発にするために生徒会が主催で行っているのが「北中サミット」である。

北中サミットの内容は各学級の日頃の学級活動の紹介である。例えばどの学級にも、朝の会があり、帰りの会があるが、隣のクラスのそれを生徒はもとより教師も知らないのが当たり前だと思われる。ましてや他の学年ならなおさらであろう。

また、どの学級にもレク係や学習係や新聞係があり、それぞれの学級で努力していると思われるが、よその学級の活動は知らないであろう。したがって時にはマンネリ化してしまうのではないだろうか。「北中サミット」はほかの学級の活動を知ることにより、より豊かな学級活動が展開できるのではないかと考え計画したものである。この発表会を通して、入学したての1年生にとっては中学校の係の活動とはどんなものかとか、3年生の上手な司会の進め方や上手な発表の仕方をも学ぶこともできると考える。

第1回 北中サミット プログラム 平成7年6月2日(金) 3:00より (学級活動発表会)

1. 開会の言葉 ... 司会 生徒会本部役員
2. 生徒会長の話 ...
3. 先生の話 ...
4. 各学級の発表 3年生→2年生→1年生

3年1組 ・生活点検表 ・黙想 ・ネームプレート	3年2組 ・行事係の仕事 ・1分間スピーチ ・月ゴビの目標 ・週ごとの目標	3年3組 ・帰りの会のレク ・掲示物 ・週一回番体中の全員でレク ・今日の誕生日	3年4組 ・帰りの会の歌 ・日直カード ・掲示物 ・今日のMYP
3年5組 ・帰りの会の歌 ・1分間フリータイム	2年1組 ・学級の係活動 ・セミナーの係活動について	2年2組 ・掲示物(自己紹介) ・班ノート ・班長が書く「班活動の反省」と所見	2年3組 ・帰りの会の歌 ・掲示物
2年4組 ・セミナーハウスのレク ・キャンプファイヤー、きたたけ ・目標カード ・班ノート ・自己紹介カード	2年5組 ・レクリエーション3つ ・班日誌・学級旗 ・学習カレンダ ・予備問題 ・プランナー ・班紹介 ・班新聞について	1年1組 ・1日の反省シート(物) ・1分間スピーチ ・掲示物	1年2組 今回は見学させていた ぶとすけ、次回をお楽しみに。
1年3組 ・朝の会での民合入れ ・帰りの会での集約コンテ ・生活係による活動計画 ・花見カードの記入	1年4組 ・クラスの本 (かみはり本・友達の本)	1年5組 ・反省ノート(後)	1年6組 ・班新聞 ・掲示物

反 省

この活動は北中でははじめての実践であった。6月・11月と2回行ったが、全体的には活発な話し合いができた。サミット後には「あの学級のような活動をまねしてみよう」などの声が生徒や担任から聞くことができたのでやって良かったと感じている。

課題としては、準備において担任の負担が大きいこと、2回目においては発表の内容が似たようになり深みが出なくなってしまったことが上げられる。来年度は時期や内容をもう一度考えたうえで計画したいと思う。

5. 今年度の反省と今後の課題

活発な生徒会をめざしてスタートした1年間だったが、活動の量においては多くのものにチャレンジできたと思う。偶然にも早川足利市長さんとの会談「ヤングサミット」が北中で行われたり、スプリングフィールドからジェフとオーチスが来たことなどは、さらに生徒会の活動の幅を広げることになった。したがって目まぐるしく息をつく暇も無いほど動いていた1年間であったが、これは目的から考えるととても良かったことだと思う。

内容的にははじをかいったり失敗したり予定通りに行かないことの方が多かったし、他校と比較したら稚拙な活動も多かったと思う。しかし成果としてすべての生徒会役員が任期終了にはとても満足して引退してくれたこと。そして12月の新生徒会役員の選挙に生徒会長候補が3人も立候補し、副会長や議長候補にも5・6名が、そして事務局候補には23名もの生徒が立候補してくれたことを思うと、この1年間の活動が後輩の1・2年生に与えた影響が大きかったのではないかと感じている。

まだ3月に予餞会を残しているので、素晴らしい伝統を残してくれた3年生に感謝の気持ちを込めて、思い出に残る楽しい会に仕上げていきたいと新役員と検討中である。現在の計画では仮装大会と仮装のままのフォークダンスと卒業生の3年間のスライド撮影とを考えている。

来年度の課題としては ア. 集会活動の充実 イ. 委員会活動の組織の見直し ウ. 世界の難民への援助活動の展開 などと考えている。

ア. 集会活動の充実

まずクリーン活動を来年度も進め1回目は北中だけでそして2回目には小学校との連携でいっしょにできたらと考える。小学6年生にとって、中学校という場所は部活動があって、先輩がこわくて、勉強が難しく、先生も怖いところなどのイメージをもっている児童が多いことと思う。そんな6年生のためにも各町内で中学生と一緒に入学前から活動ができれば、不安感も薄れるのではないかと考える。

次に生徒集会においてはこれまでのように20分だけの活動ではなく、それ以前に学級でしっかり準備の活動をして生徒集会では発表するだけの形を多く取り入れたいと考える。例えば班対抗のたこあげ集会のように、まずは学級においてたこ作りを行ってもらい、生徒集会では一斉にそれを上げて楽しむなどの形に移行していきたい。そうすればさらに充実した生徒集会ができると思われる。

イ. 委員会活動の組織の見直し

現在の委員会活動はそれなりにきちんとした活動を行っているが、委員会において活動の量に差が大きいと思われる。また職員数も減ってきているので、委員会の合併や名称変更によって生徒の創意工夫の生きる、さらに充実した委員会活動ができるようにしたい。

ウ. 世界の難民への援助活動の展開

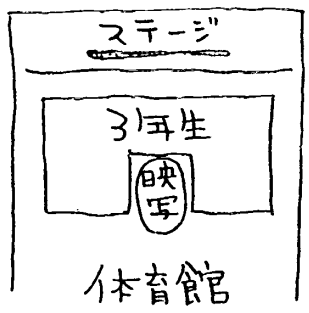
本校の福祉教育は今年度「厚生大臣賞」をいただくほどの素晴らしい活動を見せている。これは北中の福祉教育や福祉委員会が地道に活動を進めてきた成果である。そこでさらにこの活動を広げ、一人でも多くの

人を助けるために世界の難民への援助をしたいと考えている。これは職員からでた意見ではなく、生徒会長
長の選挙での公約である。これを実現していきたいと考えている。

現在計画中の予餞会の内容 (H8. 1. 17)

3/1 予餞会 について、
予定時間 2.3時間

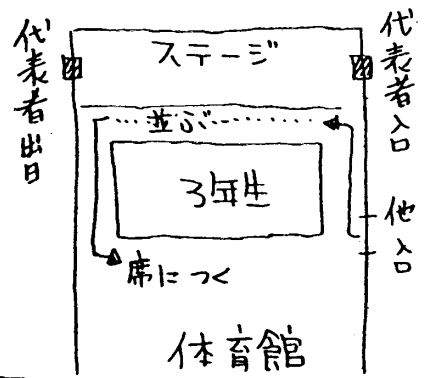
1. 『スライド』 ———— 同時進行 ———— 仮装準備
——— 3年生のみ ———— ———— 1.2年生のみ
(準備委員、用意)



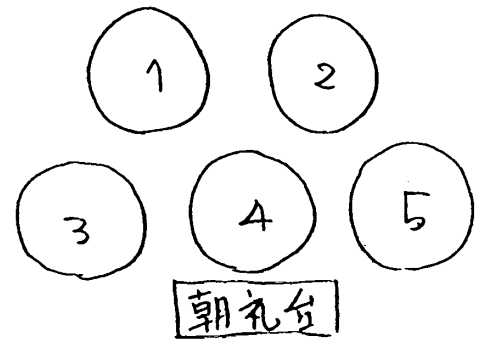
30分間で準備を
すべて終わらせ、係の
人が呼びに来るまで
その教室で静かにまつ。



2. 『仮装大会』
1年生から順番に
代表者がステージに上がり
決められた時間
何かをする。



3. 『仮装で
フォークダンス』
・コロボチカ (3回)
・クラホマミキサー
<時間になるまで>
※ 5つの組はワジで決める。



評

特別活動は、生徒の体験や経験そのものが学習の対象です。各学校の創意を生かしながら、集団活動の体験を通して、集団の一員としての自覚を深めさせるとともに、自主的、実践的な態度を育成し、発達段階に即して自己を生かす能力を養うことが大切です。

月2回の学校週5日制実施により、以前と同様の活動時間の確保が難しくなっているといわれることもありますが、そのような中で本研究は、特別活動本来のねらいに即して今までの活動を振り返り、生徒がそれぞれのよさや可能性を生かし、いきいきと活動する生徒会活動の在り方について研究されました。

本研究による成果をまとめてみますと、

- 1 中学校における生徒会活動のねらいや在り方について、生徒会本部役員をはじめ全校生徒が活動を通して十分に理解できるよう工夫された。
- 2 自発的、自治的な活動を促しながら、生徒自らの力で意義ある活動を創造していこうとする態度の育成に努められた。
- 3 月2回の学校週5日制実施を踏まえ、生徒会が実施する各活動の精選・統合、ならびに、生徒の意欲的な活動を促すための時間と場の確保に努められた。

このように本研究は生徒会活動の活性化を通して、特別活動本来のねらいを達成しようと試みたものであります。

学校週5日制の実施などでややもすると低迷してしまうことも懸念される特別活動ですが、研究ではこの学校週5日制の趣旨を生かし、地域や家庭との連携についても今後研究を深めていこうとする方向性が明記されており、本研究の更なる深まりが期待されます。

おわりに、本研究は生徒会活動を特別活動のねらいに即していかに活性化するかという点で、それぞれの学校においても大いに役立つと思われますので参考にさせていただきたいと思えます。